

行政報告をする 畠山市長



市議会12月定例会

入会権和解案 各会計補正予算案などを可決

市議会十二月定例会が、十二月七日から十五日間にわたって開かれました。今定例会には「六十二年度一般会計補正予算案」や花岡地区入会権確認請求訴訟の「和解案」など三十三議案が提出され、慎重な審議が行われた結果、全議案が可決されました。

一般会計に

一億四千四百万円を追加

六十二年度一般会計の歳入と歳出に、それぞれ一億四千四百三十三万三千円を追加して、予算総額は百五十八億六千七百七十一万九千円になりました。

歳入

の追加で主なものは次のとおりです。

- ・繰越金 六、六一八万円
- ・地方交付税 五、八四二万円
- ・財産収入 四、四一六万円
- ・市債 三、八〇〇万円
- ・使用料及び手数料 二二二万円
- ・国庫支出金 △四、二一八万円

歳出

の追加で主なものは次のとおりです。

- ▽和解金 二〇〇万円
花岡地区入会権確認請求訴訟の和解金
- ▽生活保護コンピュータ購入費 一、一〇〇万円
- ▽長木ダム調査費負担金 三〇〇万円
- ▽工業団地水源調査委託料 八四三万円

大館・花岡両工業団地での工業用水の需要の増大に対処するため、水源調査を行います。

▽大館市下水道事業特別会計繰出金 一八三万円

▽東中学校増築事業費七二〇万円
学級増に伴う教室の改修

▽施設維持補修工事費三〇〇万円
二中の学級増に伴う教室の改修

特別職の報酬を改正

市長、助役、議長、議員など特別職の給与・報酬額が以下のとおり改正されました。

- 市長・月額七十二万円
(改正前六十七万円)
- 助役・月額五十六万八千円
(改正前五十二万円)
- 収入役・月額五十二万三千円
(改正前四十七万五千円)
- 教育長・月額四十九万三千円
(改正前四十四万五千円)
- 議長・月額三十一万五千円
(改正前二十八万五千円)
- 副議長・月額二十八万五千円
(改正前二十五万五千円)
- 議員・月額二十七万円
(改正前二十四万五千円)

固定資産評価審査委員に 山城雄作氏

六十二年十二月二十二日で任期満了となる、固定資産評価審査委員会委員の山城雄作氏(六十六歳・桜町南)の後任人事案件も今定例会で同意され、同氏が再任されました。

行政報告

市議会12月定例会が招集された12月7日、畠山市長が行政報告をしました。その中から主なものをお伝えします。

◆稲作について

本年の水稲作況指数は県平均で103の「やや良」、10アール当たりの平均収量は597キログラムと、10月25日現在の予想収量が発表されました。しかし、当市を含む県北部においては、出穂後の低温、日照不足に加えて台風による被害もあって、作況指数は97の「やや不良」と、作柄に地域格差が大きく出たのが今年の特徴と思われます。

◆企業誘致について

10月19日に進出を発表した日本パルスモーターは、現地法人名を「日本パルス大館株式会社」とし、12月1日から地元採用者24人により仮操業を開始しました。このほか、現在複数の企業との間で誘致について鋭意折衝中です。

◆忠犬ハチ公銅像再建について

銅像再建の会発足以来2年半、市民各位をはじめ、県内外の多くの方々のご理解とご協力によりまして、募金目標を超える1,070万円もの浄財をいただきました。去る11月14日、東京上野科学博物館のご好意により、63年ぶりにハチ公(剝製)を迎え、市民多数の参加を得まして、銅像再建除幕式を実施できましたことを深く感謝申しあげます。

◆花岡地区入会権確認請求事件について

秋田地方裁判所大館支部において、昭和45年から56年まで審理され、その後は当事者間で和解の話し合いが進められていました。土地については大筋の合意が得られる見通しでしたが、和解金を要求されたため、進展は望めない状況にあり

ました。こうした中で、裁判所から「事件の進行を図りたい」との要請があり、当事者双方とも裁判和解を希望したため、和解調停として扱われ、10月7日に和解案が提示されました。市としては議会の了承を得た上で、この和解案を尊重し、早期に解決したいと考えています。

◆米代川流域下水道関連

大館市公共下水道事業について

県が進めている米代川流域下水道処理区事業は、終末処理場を川口地内に建設するため、11月から取り付け道路工事に着手しています。流域に関連した市の公共下水道事業は、本年度国の採択を得て事業が認可決定されました。計画では63年度から工事着工予定でしたが、国の補正予算で事業費の追加配分があり、常盤木町幹線舟場地内で延長約200メートル区間に、汚水管(口径600ミリ)を布設したいと考えています。